



（一社）兵庫県助産師会

1 子育て・女性健康支援センター主催「お母さんと赤ちゃんのふれあい広場」

1) 開催日時：毎月第2木曜日13:30～15:00

2) 開催場所：コムスタ神戸

3) 対象：生後2か月～1歳前後の母子

4) 担当者：助産師2名（交代制）

5) 目的：母乳や育児に関する相談を気軽に助産師に相談できること、母子が楽しくスキンシップを行えること、地域のお母さん方の交流をすることで、前向きで楽しい育児ができることを目的としています。

6) 内容：

- ・毎回行うベビーマッサージの講習
- ・育児相談
- ・交流会
- ・月毎にテーマをかえてミニ講座

7) 参加者：1組から10組の参加（延55組110名）

ミニ講座のテーマ：育児のお話、絵本の会、ママのストレッチ、楽しく手遊び、授乳と離乳食、赤ちゃんの睡眠

専門家である助産師の助言が得られることと、子育ての仲間づくりにもなるためリピーターさんもおられます。



報告者：竹中 靖子

2 「いいお産の日」文化祭～小さなお子さんがある家庭の備えについて～

（同時開催）～助産師の災害時の役割と備えを考える～

1) 開催日時：2019年11月3日（日）

2) 開催場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸

3) 対象：妊婦および小さなお子さんご家族・・・妊婦・親子12組27名

4) 担当者：助産師31名・助産師学生3名

5) 目的：妊婦と親子が展示やミニ講義や体験を通して災害の備えについて知ること

6) 事業報告

・5つの体験・ミニ講座を実施。

（1）マタニティ：妊婦の災害の備え、妊娠中におこりやすい体の異常と予防法、ハザードマップ、リラククス法の説明、夫には妊婦体験をしてもらいました。

（2）おんぶ・だっこ体験：さらしや兵児帯「おんぶ生活の利点を説明し、人形を使いおんぶ体験をしてもらいました。

（3）授乳・離乳：非常時の授乳方法や液体ミルクの試飲、紙コップでの授乳方法を紹介した。また、レトルトやアルファ米の非常食で離乳食づくりを実演し試食しました。

（4）こころ：親子のふれあいが非常時も大事であること、ベビーマッサージとリフレッシュ体操、絵本の読み聞かせでリラククスする方法を説明した。新聞紙など身の回りのものでできる手作りおもちゃを紹介しプレゼントしました。

（5）計測コーナー：身長・体重測定と普段気になることについて、個別相談を行いました。

・参加者の感想では、「災害について知らないことがあり参考になった」、「はじめておんぶをして、楽だった」「非常食が意外と美味しかった」など、体験やミニ講座が災害対策に役に立ったとの感想が聞かれました。

・同時開催のワークショップ「助産師の災害時の役割と備えを考える」では、3名の話者提供から、兵庫県助産師会として災害時支援の体制づくり、災害ボランティアの体験、全国の被災後の助産師会の支援方法について紹介してもらい、参加者同士で被災体験や災害に備えておこなっていることについて意見交換しました。「災害のことをたくさんの方からお話を聞くことができた」、「災害時に何ができるのか、何が必要で何をしなければならないのか考えることができた」、との感想がありました。

・最後に災害クイズとリコーダーアンサンブル“インスタント”の演奏を聴いて閉会となりました。夏に風水被害が多かったため、参加者の皆さんの関心も高く、非常のために日常から備えることの大切さを学んでいただけた半日となりました。

